

マーケットの動き（2024年6月24日～6月28日）

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

日米金利差を意識した円安・米ドル高が再び進行する中、配当金の再投資に絡んだ買いも観測され、国内株式は堅調に推移しました。その後、短期的な過熱感から一時下落しましたが、週末にはTOPIXが年初来高値を更新し、一時約34年ぶりの高水準となるなど反発して週を終えました。

投資環境見通し（2024年6月）

国内株式相場は底堅い動き

企業業績については、期初の会社予想は比較的慎重な内容となりましたが、設備投資の回復や春闘の結果が給与に反映することに加えて、定額減税も個人消費を支えるとみられることから、業績は次第に切り上がるとみています。国内株式相場は、今年度の決算見通しが足元ではまだ慎重な内容となる中、日銀の政策修正を巡る思惑や長期金利の上昇圧力が上値を抑える要因とみられます。ただし、企業業績に対する中期的な安心感が広がるにつれて、高水準の自社株買いにも支えられ、国内株式相場は次第に底堅く推移するとみています。

	6月28日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,809.63	3.12%	1.49%	18.95%	22.23%
日経平均株価	39,583.08	2.56%	1.87%	18.02%	19.25%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

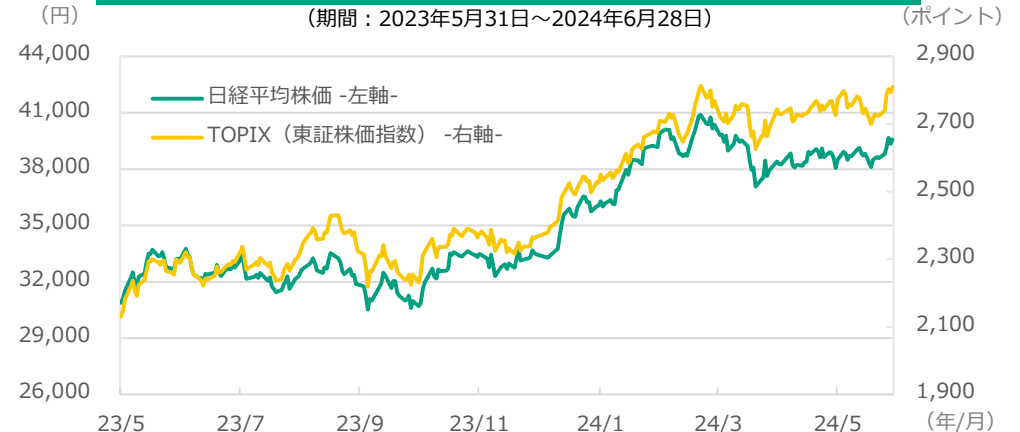
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202406_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

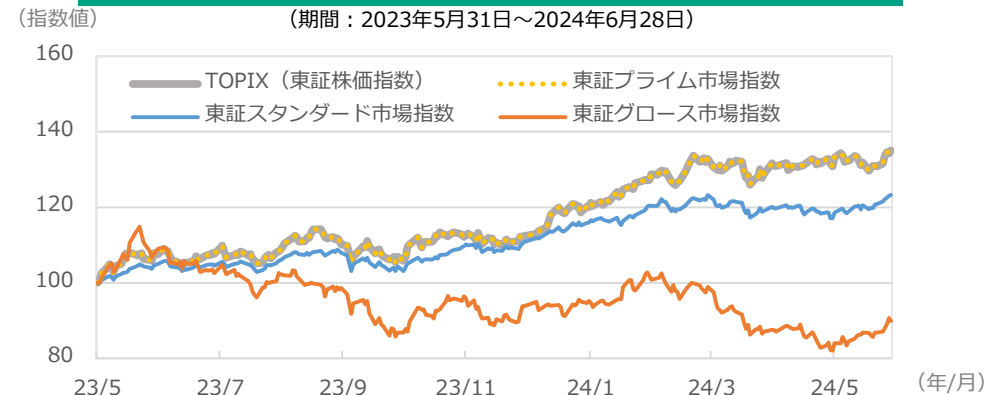
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2023年5月31日～2024年6月28日）



東証市場別指数の推移

（期間：2023年5月31日～2024年6月28日）



※2023年5月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成